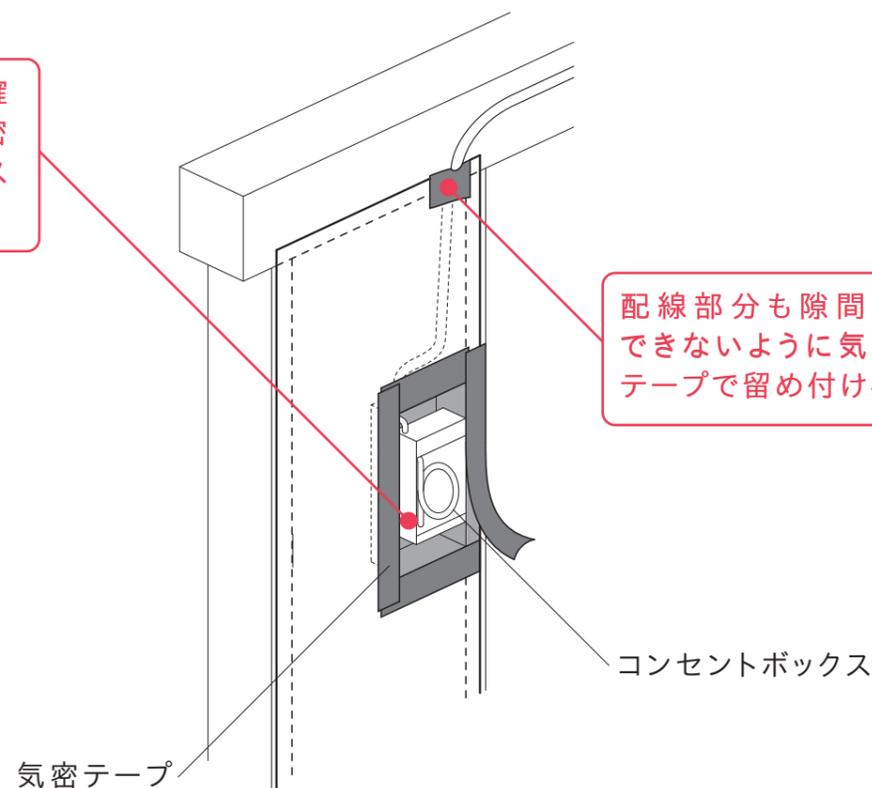


! 補足説明5 - コンセントボックス、スイッチボックスまわりの納まり

防湿性、気密性を確保するために、気密コンセントボックスカバーを使用する

配線部分も隙間ができないように気密テープで留め付ける



出典：省エネ講習会資料作成WG監修『住宅省エネルギー技術施工技術者講習テキスト(施工版)平成28年省エネルギー基準対応』木を活かす建築推進協議会、2016年

- ・コンセントボックスやスイッチボックス等を外壁に設置する場合は、防湿フィルムの一部をはがしながらグラスウールを充填する。気密コンセントボックス部分の防湿フィルムは切り取る。
- ・コンセントボックスカバーのまわりや配線取合い部に隙間ができないようにグラスウールを充填し、隙間にはグラスウールの端材を詰める。
- ・最後に、気密コンセントボックスの周囲の防湿フィルムを気密テープで留め付ける。
- ・配管等が外壁や床、天井を貫通する場合は、グラスウールの端材や発泡ウレタン等で隙間を埋めること。